

モンゴルとの野球交流の軌跡

旧那賀川町との交流

- 1991年(平成3年)8月 町体育協会野球部が野球用具を贈る運動を始める
- 1992年(平成4年)4月 モンゴルのダラムイン・ヨンドン駐日全権大使に野球用具を贈呈
- 8月 小泉町長、町体育協会長、野球部員等がモンゴルを訪問
- 1993年(平成5年)7月 モンゴルの野球少年20人が那賀川町に来町し、ホームステイする
- 10月 モンゴルのオリンピック委員長ほか2人が国体視察のため来町
- 1994年(平成6年)6月 国立野球場建設日本協力を組織。全国に協力を呼びかける
- 7月 那賀川町の小中学生13人が、モンゴルへホームステイ、ゲル体験する
- 1995年(平成7年)8月 全国から浄財1,300万円(モンゴルの当時の貨幣価値で10億円)を集め、ウランバートルに野球場を建設。小泉町長ほか町議会議員がモンゴルを訪問
- 1996年(平成8年)9月 両翼99m、中堅120mの野球場が完成。小泉町長ほか10人がモンゴルを訪問

阿南市との交流

- 2007年(平成19年)8月 岩浅市長ほか8人で構成する阿南市モンゴル訪問団が、私費にてモンゴルを訪問(ウランバートル市長および在モンゴル日本大使と面会、モンゴル健康大学長およびモンゴル健康科学大学名誉教授との交流)
- 2009年(平成21年)2月 阿南市に寄せられた431点の野球用具を、埼玉県MBSG(モンゴル・ベースボール・サポートグループ)を通じてモンゴルへ送付
- 12月 モンゴル野球連盟から感謝のプレートが届く
- 2011年(平成23年)11月 映画会社アールグレイフィルム社(東京)から「モンゴル野球青春記」の映画撮影協力依頼
- 2012年(平成24年)7月 映画「モンゴル野球青春記」上映実行委員会設立
- 8月 岩浅市長が再度モンゴルを訪問し、現地で撮影中のスタッフを激励するとともに、就任5日目のウランバートル市長バトゥル氏と面会

日本とモンゴルの国交40周年記念映画「モンゴル野球青春記」の撮影が、8月31日〜9月5日(予定)までの間、J A アグリあなんスタジアムなどで行われます。旧那賀川町時代に始まったモンゴルとの野球交流が評価され、阿南市での撮影が実現しました。

この映画は、ルールも知らない子どもたちに野球を教える日本人青年の苦悩や葛藤を描いた「モンゴル野球青春記(関根淳著)」を原作にした映画で、旧那賀川町がウランバ

ートルに野球場を建設し、モンゴル野球の普及・振興に寄与したにも触れられています。

阿南市では、平成10年に日本で開催された「第3回アジアA A A 野球選手権大会」の日本対モンゴル戦を再現する映画のクライマックスシーンの撮影が行われます。当時の日本チームには、松坂大輔選手(レッドソックス)や村田修一選手(読売ジャイアンツ)など、そうそうたるメンバーが在籍していました。

日本・モンゴル国交40周年記念映画
「モンゴル野球青春記」 8月31日から阿南で撮影開始!

今、よみがえる 草の根の国際交流

「モンゴルで野球がしたいけど道具がない」
 1991年6月、日本モンゴル文化交流協会がモンゴルを訪問した際、少年から受け取った一枚の手紙がきっかけでモンゴルとの交流が始まります。「モンゴルの子どもたちに野球用具を贈ろう」と、徳島県軟式野球連盟と那賀川町体育協会が草の根活動を展開しました。あれから21年、野球でつながる両国の交流物語が映画となって今、よみがえります。

生涯スポーツ国際交流事業
モンゴル国 日本 那賀川町親善交流野球大会



映画「モンゴル野球青春記」
上映実行委員会会長

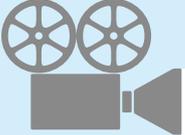
小泉 隆一さん
(83歳・那賀川町)

海を越えた草原の国、モンゴルの少年と、那賀川町体協野球部が、文字通り大草原による草野球の草の根交流の幕を開けたのが20年前。国際交流協会等住民らによる善意ある行動が、言葉の壁を超人と人・心と心のきざずとなり、共感と信頼が芽生え、ついにその熱意が実りモンゴル国立野球場の完成、引き渡しとなりました。一本の野球という苗木が太い幹へと育ち、葉を茂らすことを、モンゴル野球連盟に託して第1幕は下ろされました。

幕間の休憩の間に、阿南市と那賀川町は合併。背景も舞台も演ずる人も新たに構成され、第2幕は開かれました。

「アグリあなんスタジアム」のオープンを契機に「野球のまち阿南」の旗を掲げ、スポーツを生かした地域活性化をめざし、各種市民団体による推進協議会が設立され、活動が展開されました。野球を愛する老若男女を県外から年間3000人も招き入れるまでに発展。草野球の聖地として全国の注目を集めています。このたびの「モンゴル野球青春記」の映画撮影は、「野球のまち阿南」を全国にPRするチャンスであり、なんととしても成功させたものです。大横綱白鵬関の後援をいただくなど支援の輪も広がっています。

市民の皆さま、関係者の方々の有形無形にわたるご支援を心から謝し、さらなるお力添えを願います。



映画撮影 出演者紹介

映画のクライマックスシーンの対モンゴル戦を演じる日本チームの皆さんです。選手役の皆さんは、7月1日(日)にJAアグリあなんスタジアムで行われたエキストラ選考会で選ばれました。

主演 関根 誠役 石田 卓也さん
(愛知県出身・25歳)

2002年、第15回「ジュノン・スーパーボーイ・コンテスト」でフォトジェニック賞を受賞したことを機に芸能界入り。2005年、TBS系列テレビドラマ『青春の門・筑豊編』でデビュー。同年公開された映画『蝉しぐれ』での演技が認められ、キネマ旬報新人賞を獲得。2006年以降はテレビドラマ『ガチバカ!』、映画『ラフ ROUGH』、『夜のピクニック』などに出演。また、劇場版アニメ『時をかける少女』では声優もこなすなど、映画出演を中心に幅広く活動している。



水野 雄仁さん
(監督役・東京都在住 宝田町出身
元読売ジャイアンツ投手)



松村 高明さん
(コーチ役・加茂町
元横浜ベイスターズ投手)



松本 隆茂さん
(コーチ役・那賀川町)



近藤 洋祐さん
(投手役・徳島市)



高原 勇人さん
(捕手役・富岡町)



水木 博之さん
(遊撃手役・松山市)



宮本 明日加さん
(投手役・才見町)



久田 将之さん
(捕手役・長生町)



庄野 祐さん
(一塁手役・徳島市)



田淵 優樹さん
(二塁手役・中林町)



田上 宏幸さん
(三塁手役・宝田町)



江本 哲朗さん
(捕手役・桑野町)



越智 泰勢さん
(外野手役・大阪府)



田村 誠さん
(外野手役・大阪府)



中山 大輔さん
(外野手役・羽ノ浦町)